

夢みたものは……

立原道造

夢みたものは ひとつの幸福
ねがったものは ひとつの愛
山なみのあちらにも しづかな村がある
明るい日曜日の 青い空がある

日傘をさした 田舎の娘らが
着かざって 唄をうたつてゐる
大きなまるい輪をかいて
田舎の娘らが 踊ををどつてゐる

告げて うたつてゐるのは
青い翼の一羽の 小鳥
低い枝で うたつてゐる

夢みたものは ひとつの愛
ねがったものは ひとつの幸福
それらはすべてここに ある と

〈出典 『新装版 現代詩読本 立原道造』(思潮社、一九八三年)〉

【著者】立原道造(たちはら みちぞう)

一九一四(大正三)年—一九三九(昭和一四)年

詩人。東京都の生まれ。

【著書】『萱草に寄す』『暁と夕の詩』など